

アクレックス 3600 アク止めシーラー

---

仕 様 書

---

和信化学工業株式会社

---

木工塗料事業部

---

平成 年 月 日

---

## アクレックス 3600アク止めシーラー

本品は、水系タイプのナラ材塗装アク止めシーラーです。ナラ材に一般的な水系塗料を直接塗装した際の、黒味がかかった仕上がりになるのを、このシーラーを塗装することで抑制することができます。特にアクレックス 3500 フォアとの組み合わせでその効果を発揮します。

木材が含んでいるタンニン等のフェノール類は、水に可溶して木材表面に現れ、時として変色をして外観を妨げるケースがあります。特にナラ材において水系塗料を塗装した場合に、水可溶成分によりその仕上がりは黒味がかかる事が度々問題となっています。ナラ材はフローリングに用いられることも多く、水系タイプのアクレックス 3500 フォアを塗装した際の仕上がりは黒味を帯びる事があります。本品をシーラーとして使用する事で、黒味がかかった仕上がりとなるのを抑制し明るい木地の色を生かした仕上げとすることができます。

### § ホルムアルデヒド放散等級

アクレックス 3600アク止めシーラー

F

(W01015)

### § 特 長

水系タイプで、取り扱いが安全、安心です。

ナラ材に塗装することで、一般的な水系塗料を直接塗装した際の、黒味がかかった仕上がりになるのを抑制します。

シーラーとしては肉持ち感の高い仕上がりです。

### § 用 途

新規もしくは削り直しで、直接ナラ材に水系塗料で塗装する際の、黒味がかかった仕上がりになるのを抑制するシーラー

特に、ナラ床材をアクレックス No.3500 フォアで塗装する際の1回目塗装に使用する事で効果を発揮します。

### § 使用方法

1. 本品は原液のまま塗装できますが、必要に応じて水で希釈して下さい。  
水で希釈しすぎると、求めるアク止め効果が得られない事がありますのでご注意ください。
2. 塗装用具は水で洗う事ができますが、乾いてしまうと洗いにくなりますので、その際はラッカーシンナー等をご使用下さい。
3. 上塗り塗装をする際には、シーラーを研磨して下さい。研磨をする事で、仕上がりを良くし、密着性を向上させます。

### § 塗料性状

外 観	乳白色液体	
粘 度	12 ± 2 秒	No.4 フォードカップ / 25
密 度	1.05 ± 0.02	ウェイトカップ / 25
不揮発分	31%	計算値
凍結安定性	異 状 な し	-15 - 室温 凍結融解 5 サイクル
保管安定性	異 状 な し	50 1カ月
コールドチェック	異 状 な し	-20 2H - 50 2H 10 サイクル

## § 乾燥性目安

塗布量 80～100 g/m<sup>2</sup>  
 乾燥時間 指触 30～40分、指圧 2～4時間（気温/湿度、20 / 50%）

条件によって乾燥時間は変わりますので参考として下さい。

## § 塗膜性能

項目	結果	条件
耐酸性	○	5%酢酸水 スポットテスト 24H
耐アルカリ性		5%炭酸ナトリウム水 スポットテスト 24H
耐水性	○	水道水 スポットテスト 24H
耐アルコール性		60%エタノール水 スポットテスト 24H
耐溶剤性		塗料用うすめ液 スポットテスト 24H キシレン スポットテスト 24H
耐マジック性	黒 赤	24H 後ベンジンふき取り
耐クレヨン性	黒 赤	24H 後ベンジンふき取り
耐インキ性	黒 赤 ×	スポットテスト 24H
鉛筆硬度	B	5ミルポリ板 塗布7日後

ナラ合板 100g/m<sup>2</sup> 塗装7日後(鉛筆硬度を除く)

## § アク止め効果

希釈量	評価	備考
原液	2	シーラー- 100g/m <sup>2</sup> フロア 100g/m <sup>2</sup> ナラ合板  評価 5濃 - 薄1
原液/水 = 1/1	3	
シーラーなし	5	

水希釈を増やせば、効果は若干薄れていきます。  
 その効果は、塗布量、素材の違いによっても異なりますので、小スペースにて  
 チェックをお奨めします。

## § 塗装工程 (例)

### ナラ材フロア塗装 (例)

工 程	使 用 塗 料	乾 燥 時 間	塗 布 量	備 考
素地調整	#100メッシュ			
下 塗 り	アクレックス 3600 アク止めシーラー 原液	4時間以上	80~100g/m <sup>2</sup>	短毛ムートンモップ <sup>1</sup>
研 磨	#120~#180メッシュ			
中 塗 り	アクレックス 3500 フロア	4時間以上	80~100g/m <sup>2</sup>	短毛ムートンモップ <sup>1</sup>
研 磨	#120~#180メッシュ			
上 塗 り	アクレックス 3500 フロア	一 夜 放 置	80~100g/m <sup>2</sup>	短毛ムートンモップ <sup>1</sup>

アクレックス 3500 フロア 100  
水 0~5

塗布量は素材の吸い込み具合や、平面・立面塗装によっても変わります。

又、乾燥時間は条件により変わりますので目安として下さい。

必要に応じて、アク止めシーラー、又はフロアの塗装回数を増やして下さい。

## § 使用上の注意

5 以下での塗装や、多湿の際の塗装は乾燥時間が極端に遅れるだけでなく、仕上がり問題となったり、求める塗膜性能が出にくくなる場合が有りますので避けて下さい。

本品は水系塗料ですので低温時には凍結します。凍結させますと外観が正常な状態に戻らなくなる可能性がある他、外観に問題がなくても塗膜性能が極端に低下している場合があります。0 以下の場所での保管を避け、凍結させないように注意して下さい。また、しっかりとフタをし、直射日光を避けたところに保管して下さい。

作業中や養生中はできるだけ換気を良くして下さい。上塗りの養生時にはゴミの付着には注意して下さい。

刷毛などの塗装器具の洗浄は、乾かぬうちに水でよく洗ってください。乾いてしまうと水では落ちにくくなりますのでご注意下さい。その際はラッカーうすめ液等をお使い下さい。

取り扱い中は、塗料ができるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護具等を着用して下さい。皮膚等に付着した場合には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときには、医師の診察を受けて下さい。

目に入った場合には多量の水で洗い、直ちに医師の診察を受けて下さい。誤って飲み込んだ場合も、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。

子供の手の届かないところに保管して下さい。

残塗料及び洗浄廃液は、河川・下水などに捨てず、中身を使いきってから廃棄して下さい。

更に詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。